



やまぶき

一関市立大原小学校 校報 No. 28
2025.11.12 文責：校長 松田

地域交流講演会～落語体験～

11月7日(金)に開催された地域交流講演会では、七代目三遊亭円楽師匠をお迎えして、落語の講演会が行われました。日本が誇る伝統的な芸能である落語を実際に鑑賞・体験することで、子供たちが言葉の力やその素晴らしさを学ぶ貴重な機会となりました。

落語はひとりの噺家(はなしか)が座ったまま、様々な人物になりきりながら物語を語る伝統的な日本の話芸です。必要最低限の小道具である扇子や手ぬぐいのみを使い、巧みな言葉と仕草で観客に細かい情景を生き生きと伝えます。今回の講演では、円楽師匠がその魅力あふれる語り口で子供たちを引き込み、ユーモアたっぷりの話を披露してくださいました。子供たちは笑いに包まれながら楽しい時間を過ごし、落語の独特な話術や、物語の中に込められた知恵やユーモアに感動している様子が印象的でした。

さらに、円楽師匠のお話を通じて、「言葉には不思議な力がある」ということを改めて感じる事ができました。言葉を巧みに使い表現することで、人を笑顔にしたり、元気を与えたりする素晴らしい力を持つことを子供たちも実感したようです。この体験を通じて、子供たちは言葉を大切にする心とコミュニケーションを楽しむ姿勢を学ぶことができたのではないかと思います。

このような素晴らしい機会を提供してくださった地域団体の皆様に、心より感謝申し上げます。今回の講演会をきっかけとして、これからも地域と一体となり、子供たちの学びや興味を広げていける活動をとともに考え、実行していきたいと思っています。



授業参観(11/7)の様子



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生

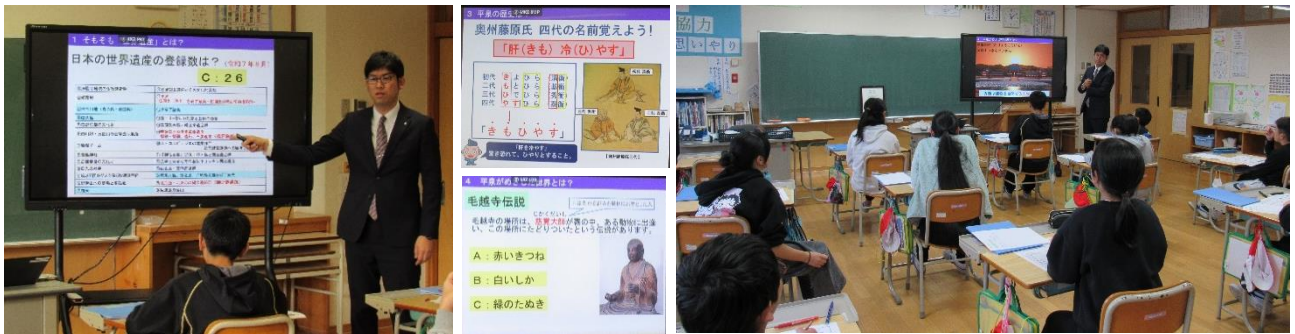


6年生

世界遺産平泉出前授業(6年)

11月10日(月)、6年生が世界遺産平泉に関する出前授業を行いました。県南教育事務所の社会教育主事の先生を招き、平泉の世界遺産の構成資産について奥州藤原氏四代との歴史的な関連を交えながら教えていただきました。授業ではクイズや映像が取り入れられたため、子供たちにとって非常に分かりやすく学ぶことができました。

授業を通じて、子供たちは初代藤原清衡が戦争の経験をもとに平和を願って金色堂を建てたという重要な事実を学びました。この授業により、14日(金)に予定されている中尊寺見学の際には、興味・関心を持って学習してくることができるだろうと感じました。



食に関する授業(6年)

11月11日(火)に6年生が大東学校給食センター栄養教諭の先生と食育の授業を行いました。今回の授業では、まず生活習慣病とは何かを学び、病気が発症する前に体内でどのような変化が起こるかを血管の模型を使って理解しました。生活習慣病を予防するためにはどのようなバランスの取れた食事が必要かについても考え、健康的な生活への関心を深める時間となりました。



さつまいもパーティー(1年)

11月5日(水)、1年生が自分たちで収穫したさつまいもを使ってスイートポテト作りに挑戦しました。この活動には地域のボランティアの方が協力してくださり、子供たちを優しくサポートしていただきました。初めて包丁を使うという子供たちも多く、少し緊張しながらも楽しく調理に取り組む姿が印象的でした。完成したスイートポテトの美味しさに、みんな笑顔で喜んでいました。

